

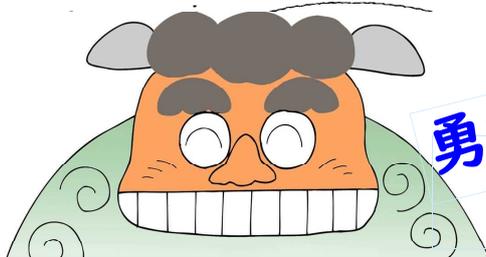
# 大謝名小のスタ場!!!

2022, 9, 12(月)

第22号

宜野湾市立  
大謝名小学校  
校内新聞

「スタ場」とは、「スタートの場」「スタディの場」「スターの場」を表しています。



地域の伝統はたからもの

勇壮!

ししまい  
大謝名の獅子舞



獅子を入れる箱には、「獅子の按司加那志(あじがなし)、部落ぬ守護神(まむいがみ)、悪魔災難(あくまわざわい)や払(はら)て給(たほ)り」とある

9月10日(日)は、旧暦の8月15日でした。大謝名区では、この日に豊年祭が行われ、地域の安全祈願と厄よけの獅子舞が演じられています。

約200年前からの伝統行事で、市の無形民俗文化財に指定されています。戦争の時に一時中断しましたが、1976(昭和51)年に33年ぶりの復活をしたとのこと。

大謝名の獅子はオスで、「イキガシーシ(男獅子)」または「けんかシーシ」と呼ばれているそうです。コロナの感染を防ぐため、ここ3年、豊年祭が中止になっていますが、神事として獅子舞を少し演じると聞いたので、見に行きました。

獅子舞を演じることを「シーシ・ケーラスン」

といい、獅子をかぶる二人の人は、前を「メーカーンジャー」後ろを「クシカンジャー」と呼ぶそうです。また、鈴を持って獅子をさそい出す人を「ワクヤー」といい、太鼓やドラの音に合わせて獅子に技を演じさせていました。大謝名区の素晴らしい伝統文化、いつか大謝名っ子にも見てほしいと思います。(文責：玉村かおり)



獅子舞の前に棒術と「メーカーカタ」という空手を取り入れた踊りがある

大謝名の獅子はカラフル。メーカーンジャーとクシカンジャーがタイミングを合わせて、吠えたりかみついたりする舞をする。

